

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階

TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp

URL：<http://j-jafra.jp/>



朝日新聞デジタルでの記事

一昨年から中部支部が独自に取り組んでいる地域の大学生とのインターン調査研究事業、2014年度は南山大学経営学部石垣智徳教授のゼミとの提携で、主に4年生を中心としたメンバーと、7月から12月まで計9回のセッションを行いました。

交通広告の大切なオーディエンスであり、またこれからの消費やコミュニケーションの中心となるクラスタとなっていく大学生が、日常生活動線上で、交通広告とどのような接触をもち、関心をもっているのか

支部会員各社の若手社員との対話と交流のなかで

9月からのセッションの前半5回

て前年度と同じく、この事業のしめくくりは学生の感性でつくりあげたデジタルサイネージの作品はWEBをはじめ、地元新聞やテレビでも大きく取り上げられ、交通広告メディアの可能性や社会的な価値や役割を改めて認識させる成果となりました。

を、いくつかのテーマでのセッションを通じて探っていき



南山大学でのセッション

交通広告を未来へつなぐために 2年目を迎えた大学生を対象とした 交通広告インターン・調査研究事業

中部支部
「学生インターン企画」
プロジェクト事務局

は、学生たちが「日ごろ見慣れているが、飽きがきてしまう、面白みに欠ける(学生へのアンケートより)」という印象をもっている交通広告メディアについて、その課題や正直な現状報告をまじえて理解を深めてもらう取組みを行いました。

(1) 交通広告の成立ちやメディア特性、(2) 交通広告がデジタルの領域に挑戦しているデジタルサイネージについて、(3) 交通広告のクリエイティブ、(4) 提案営業のあり方、そして(5) 交通広告を中心としたメディアプランニングについて



デジタルサイネージ制作のオリエンテーション

レクチャーと対話を進め、11月下旬には稼働間もないJR名古屋駅中央通路のシリーズ・アド・ビジョン名古屋をはじめとする変貌する名古屋駅周辺の交通広告を実際に自分の目で確かめるツアーを開催しました。



デジタルサイネージ制作のプレゼン風景

本格的企業協賛を得て、デジタルサイネージのクリエイティブに挑戦

セッションの終盤では、今回はNTTドコモ東海支社様に協賛をいただき、学生がデジタルサイネージのクリエイティブに挑みました。スマートフォンとの普及に伴い、特に駅や街頭での利用マナー、「歩きスマホ」が社会問題化しつつあるなか、コアユーザである学生自身の視点と発想力で歩きスマホへの警鐘をデジタルサイネージで表現しようという試みでした。

NTTドコモ東海支社の広報担当者から、直々にオリエンテーションをしていただき、プロジェクトのメンバーがアドバイザーとしてサポートするかたちで、学生が3〜4人のグループに分かれ、コンペ形式で作品を練り上げていきます。そして、個性にあふれた5作品がプレゼンテーションにかけられ、その最優秀作品が、今年1月13日からの1週間、JR名古屋駅のシリーズ・アド・

ビジョン名古屋、1000面のディスプレイで放映されました。放映開始初日には事前に南山大学、NTTドコモ東海支社、JAFRA中部支部の三者でプレスリリースを行ったこともあり、地元メディアの取材が相次ぎ、テレビ4局が当日午後から夕方の情報番組などで取り上げたのをはじめ、新聞5紙、WEBでも多数の記事掲載がされる結果となりました。

デジタルサイネージにみる交通広告の可能性や価値向上へむけて

デジタルサイネージはここ数年で駅構内だけでも1000面を超える数のディスプレイが設置され、交通広告の中心的存在になりつつあります。

しかしこれが、看板やポスターというオールドメディアからの単なる置き換えに止まらないためには、「送り出す、映し出す情報」が大きなカギを握ることはいうまでもありません。

今回の中部支部の学生インターン企画は、単なるマーケティング調査事業という枠を超え、デジタルという武器をもった交通広告が、メディアとして、新しい価値創造の可能性をもっていることを示唆するものとなりました。

交通広告に携わる広告会社自身が主導してさまざまな情報メディアやインフラを担う企業などとのコラボや連携を深め、広報活動の効果を高めることや、生活者の利益につながるようなインタラクティブな関係を生み出す情報ツールへと進化していくことなど、様々な可能性が見えています。

中部支部では、こうした課題に、学生との協働というスタイルで向き合い、今年もこの調査研究事業に積極的に取り組んでいきたいと考えています。



「歩きスマホへの注意喚起」最優秀作品



地元東海テレビ「スーパーニュース」での放送の模様

広 場

「家庭菜園」

理事 増田 拓也 (東京地下鉄株式会社)

二人の子供が小学生になった頃、食べ物大切にすること、食事の大切さを伝えるため、畑を借りて、野菜を作ることにした。今風に言えば、「食育」になるのかもしれない。

自宅から車で30分ほどの牧舎に併設された遊休地を開墾し、5m四方に区切ったものを

畑としてお借りするものだ。

牧舎の経営者夫妻

が、地域

活動に熱

心な方で、

無償で提

供してい

ただいて

いる。肥

料は、毎

日潤沢に

供給され

る「もの」から時間を掛けて作られた堆肥であり、手を入れると温かいぐらいに熟成される。初めて堆肥に触れた時は、匂いもべたつきもないことに、とても驚いた。牛から排泄されたものに「わら」や「おが屑」を混ぜて積み上げておくだけだが、微生物の働きにより分解され、発酵が進むためだ。



収穫したきゅうりやじゃがいも

この栄養満点の堆肥のお蔭で、野菜も雑草も驚くほど、良く育つ。夏季は半月もすると、雑草が腰の高さにまで生い茂ってしまう。毎回、作業時間の半分はこの雑草の処理に費やされる。「マルチ」とよばれる黒いビニールシートで畝を覆うことにより、この作業を軽減することもできるが、ただか5m四方の畑で手抜きをするのも本末転倒な感じがして踏み切れない。ひたすら雑草を根から抜く作業を繰り返す。

育てていて、最も驚いた野菜は、カボチャだ。カボチャはアメリカが原産のウリ科の野菜で、土壌適応性が広く、何処でも旺盛に育つ。初めて

育てた時は、

親つるも子

つるも全く

摘みしな

かったため、

あつという間に畑すべてが占領されてしまった。豊富な養分を吸い取り、他を圧倒する勢いで伸び、実っていった。

毎日手入れができないため、ある程度放っておける、所謂「地這い」系の野菜を育てることもあるが、採り損なうと子供の顔ほどにも大きくなる。それゆえ、



子供の頭より大きいカボチャ

収穫の時の満足感、達成感もひと際大きく、子供が担いで跳ね回る姿を見るときは、苦労が報われる瞬間だ。また、美味かと思いきや、なかなか美味しく、その日の食卓を盛り上げてくれる。

いつしか、子供も大きくなり、長男が抜け、次男も中学生になり、土日も部活になつてしまった。私も部活の「お手伝い」に駆り出されることが多く、周りの畑に迷惑を掛けてしまうため、この春、一旦、畑をお返しした。

ただ、土に触れないのも淋しく、団地のバルコニーでプランター菜園を作っている。採れた小さな野菜を食べるときは今でも、畑の話題になることがある。子供の食育

のために

始めた家

庭菜園だ

が、家族

の絆を育

み、都市

生活に潤

いと季節

をもたら

してくれ

た。

今の子供たちは勉強やら部活やらで、とても忙しい。また、家族で畑を耕す日を楽しみにしている。



バルコニー菜園のトマト

次回もお楽しみに。

平成27年度定期総会を開催

6月29日(月) 14時00分、ホテルメトロポリタンエドモント(飯田橋) 2階万里の間において多数の会員が出席し、平成27年度定期総会を開催し、平成26年度事業報告及び決算、役員の選任案などを審議した。

審議内容は以下のとおり。

第1号・第2号議案

平成26年度事業報告及び平成26年度決算報告について、田之上専務理事の説明と、佐々亨監事代表の監査報告があり、挙手による採決の結果、出席会員及び代理人62名の賛成と、定款第27条に基づく委任状138名を含む過半数の賛成により、本議案は提案通り議決された。



監査報告をする監事佐々亨氏

第3号議案

理事・監事の選任

当協会の理事の任期は、定款第16条1項の規定により就任後2年目の、監事の任期は定款第16条2項の規定により就任後4年目の定期総会終結の時までとなっているが、平成26年定期総会后、10名の理事及び1名の監事が人事異動等の事由により退任を希望されているのでこれを了承し、6月11日に開催した第1回理事会において承認された新理事10名、新監事1名を以下の通り選任したいと発言があった。

挙手による採決の結果、委任状出席を含め、定款第27条に基づく過半数の賛成により、本案は提案通り議決され、被選任者はその就任を承諾した。

なお、理事及び監事の後任者の任期は定款第16条3項の規定により前任者の残任期間である。

また、副会長、及び常任理事の役職については定款第14条2項に基づき総会終了後理事会を開き選出し、結果は懇親会の席上で報告すると今木議長から説明があった。

(敬称略、氏名五十音順)

〈新任理事〉 10名

新井 健一郎

東日本旅客鉄道(株)

執行役員事業創造本部副本部長

稲川 一

(株)文宣 代表取締役社長

亀卦川 悟

(株)京急アドエンタープライズ

取締役社長

坂本 隆

(社)日本雑誌協会 専務理事

竹川 勉

京阪電気鉄道(株) 鉄道企画部部長

中野 量太

九州旅客鉄道(株)

事業開発本部企画部部長

橋本 修男

西日本旅客鉄道(株)

執行役員 創造本部副本部長

肥後 謙一

(株)メトロアドエージェンシー

代表取締役社長

松藤 悟

西日本鉄道(株) 鉄道事業本部

副本部長兼営業企画部長

三宅 裕司

小田急電鉄(株)

生活事業本部沿線事業部長

〈新任監事〉 1名

清水 勇宏

(株)近宣 代表取締役社長

〈退任〉 11名

井上 剛一

岩田 圭祐

清水 英明

中妻 裕司

野村 勝彦

稲川 一

岩崎 悟志

勝見 亮助

田中 龍治

中村 年孝

日野 正夫

報告事項

平成27年度事業計画

基本方針

昨年度の我国経済は、4月の消費増税後、駆け込み需要の反動等から消費を中心に減速し、広告業界においても、鉄道広告は秋口にかけて低調な状況で推移した。年末から回復の兆しも見え始めたが、活況とまで

は言い難い状況である。

3月の北陸新幹線開業、上野東京ライン開業等と明るい話題もあるが、今年度の我国経済が本格的な景気回復基調に転ずるかどうかは、厳しい部分もある。引き続き各企業は広告宣伝費を支出するにあたり、より厳しい目で広告効果と効率のよい展開を求めてくることが予想される。

今木会長あいさつ

会員の皆様方には平素は当協会の活動に対して何かとご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。また本日は大変お忙しい中をご出席いただき、重ねて御礼申し上げます。

私ども日本鉄道広告協会の使命は大きく分けて2つあります。1つは鉄道広告の持つ公益性を常に維持向上させながら、広く国民生活の向上に資する。2つ目は時代の変化、関連する技術分野の進展に応じて、鉄道広告そのものの価値を高め、会員各社様の発展にも資するということです。その観点から昨年度も色々な取り組みをやってまいりましたし、今年度も行ってまいりたいと思っております。その内

このような状況の中、鉄道広告としては各企業に選択して頂けるよう、より一層の価値向上が必要になってきている。

当協会としては、鉄道広告の持つ公益性に一層の配慮をするとともに、特にスマートフォンをはじめとするICTの急速な発展に対応し、鉄道広告の付加価値をより高めるなど、

容は後程資料に基づいて詳しくご説明いたしますのでご審議のほど、よろしく願います。

当協会はおかげさまで今年10周年を迎えることができます。この間の世の中の変化は誠に大きなものがあ



挨拶する今木会長

り、これからますます変化のスピードは速くなるだろうと考えております。そのような中、我々は使命を果たすべく頑張ってまいりたいと思いますが、それにあたり、これは当協

社会的ステータスの向上を目指し、会員各社の御理解と御協力を得て、最大限の取り組みをしていきたい。

具体的な事業計画については、以下のとおりだが、その中でも公益事業としては、環境や美観という観点から第9回地球温暖化防止キャンペーンの実施、倫理という観点から第6回マナーUPキャンペーンの実

会だけでできる話ではないのですが、常々鉄道広告の在り方、こうあってほしいと思うことについて私なりに感じていることを2つばかり申し上げます。

1点は、あたりまえでございますが、アピール力のある広告物を目指そうということです。身近な距離でリアルな媒体で人々の感覚に直接訴求できるという、この鉄道広告ならではの強みを最大限発揮する、アトラクティブで魅力的で人の目を惹くような、そしてたまにはサプライズな広告物を心がけていただければと思います。

2点目はとどまるところを知らないICTの発展、ICT化の時代にあつてそれを鉄道広告にも積極的に取り組むということです。駅構内や車内のデジタルサイネージは量的にも拡大しておりますし、質的にも充

施等について積極的に取り組んでいきたい。

また、その他事業としては、鉄道広告のICT化対応における技術開発と応用、新しいe-販促データシステムの改良と普及、交通広告共通指標推定システム運用開始に伴いアカウンタビリティ向上の充実・拡大などを主要課題として取り組むこととする。

実してきております。この更なる推進の他、鉄道広告物とweb端末などを連携させてソーシャルメディアでより多くの情報を発信していくということが大きなテーマではないかと思っております。いづれに致しまして、そのようなことに取り組んで結果的に駅構内或いは車内といった鉄道事業にとって貴重な経営資源、その経営資源に情報発信という付加価値を付けていくと言いますか、高めていくことが大切かと思えます。

これからいろいろな意味で難しい時代に入ると思われますが、会員各社のますますの発展を祈念申し上げますと共に、今後とも協会にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。冒頭の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

1. 各委員会の主な活動目標

総務・財務委員会

- ・新規会員への入会懇話
- ・支部活動活性化支援
- ・年次報告書の作成
- ・他広告団体との交流

総務・財務委員会
稲川一委員長

この度、新委員長に就任いたしました、よろしくお願いいたします。27年度の事業計画ですが、例年通りですが新規会員の入会懇話、支部活動活性化の支援、年次報告書の作成、そして他の広告団体との交流、以上を活動目標とさせていただきます。

倫理委員会

- ・倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握
- ・鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施
- ・マナーUPキャンペーン継続実施
- ・広告倫理に関する事例研究の実施
- ・日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換

倫理委員会

神田橋治委員長

基本的には昨年度に引き続き、そこに記載しております事業を継続してまいります。その5つの活動テーマですが、倫理綱領、掲出基準に基づく広告審査実態の継続的把握ということで委員会では特に、全国的にデジタルサイネージ化の進む中、全国共通の掲出基準を統一できないだろうかという意見が昨今出ておりますので、今年度も引き続き検討してまいります。2番目は鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適応に関する教育研修の実施は、人材育成委員会及び各支部と連携して実施してまいります。3番目は今年度第6回目になるマナーアップキャンペーンの継続実施、さらには広告倫理に関する事例研究の実施を日本広告審査機構、日本雑誌協会などの意見交換を事務局と共に進めてまいります。

美観風致委員会

- ・環境委員会との共同による第9回地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・美観事例の収集と紹介
- ・美観風致に関する教育研修

美観風致委員会 滝久雄委員長

地球温暖化防止キャンペーンも9回目を迎え、今年もコンセプトを変えずに「エキからエコ。」を呼びかけています。日本を代表する著名な先生方には毎回この趣旨にご賛同いただき、今回も諸先生方から、力強い新作をこの「エキからエコ。」のためにご提供いただいております。その他、美観事例の収集と紹介、美観風致に関する教育研修などを例年通り実施いたします。

環境委員会

- ・「JAFRA環境方針」配布後の環境保全への取り組み状況の実態把握
- ・環境に関する手引書の検討
- ・美観風致委員会との共同による第9回地球温暖化防止キャンペーンの実施

環境委員会 富田栄次委員長

2013年12月に会員各社の環境問題に対する具体的な取組みにつきましてアンケートを実施

施いたしました。結果、企業の規模の差もあることから、その内容、レベルにおいてかなりの隔たりがあったのが実態です。そこで、アンケートの集計結果に基づき、会員各社が活用できるように、常時携帯できる、表には環境方針、裏には会員各社が実際取り組んでいる対応策のランキングを記載した名刺サイズ2つ折りのカードと、新たにグリーンを基調としたB3サイズのポスターを作製し4月1日付で発送いたしました。また次の段階として、会社レベルではなく、個人レベルでも活用できるチェックシート型手引書の作成を検討しております。また、第9回地球温暖化防止キャン



ペーンの実施の協力にも努めてまいります。本年度も皆様の更なるご理解、ご支援をお願いいたします。



JAFRA 環境方針ポスター

安全委員会

- ・安全管理に関する調査研究の推進
- ・「絵で見る安全作業マニュアル」に対する評価・活用アンケート結果に基づき、今後の更なる活用策や安全管理体制の構築及び更なる資料等作成の検討
- ・安全作業に関する教育研修の実施

安全委員会

佐々亭委員長

例年どおり安全作業に関する教育研修を実施してまいります。また、昨年実施いたしました、絵で見る安全作業マニュアルに対するアンケート結果に基づき、更にどのようなものを作成する

のが各社の安全管理体制に資するのかということを検討してまいりたいと思います。

標準化委員会

- ・2015年度版「全国鉄道広告料金表」の協会ホームページへの収録、公開
- ・デジタルサイネージに関する標準化の検討

標準化委員会

正盛和彦委員長

2015年度版「全国鉄道広告料金表」の協会ホームページへの収録、公開につきましては、既に4月1日に更新完了しております。次に、デジタルサイネージが急激に拡大している中で、標準化の必要性、また可能性について引き続き検討してまいりたいと思っています。

人材育成委員会

- ・「交通広告ビジネス概論」別冊版の発行
- ・鉄道広告実務研修の実施
- ・セミナー、シンポジウムの開催

人材育成委員会

小野寺忠之委員長

昨年「交通広告ビジネス概論」を発行いたしました。今年は「広告業界の動向」という新しい情報別冊版を発行したいと思っております。2番目には鉄道広告実務研修の実施、それからセミナー、シンポジウムの開催ということで人材育成には力を注いでまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

技術開発委員会

- ・スマートフォンと交通広告を連動させたソリューションの検討
- ・進化するICTを活用した交通広告の検討と水平展開
- ・交通系デジタルサイネージの価値向上とネットワーク拡大の検討
- ・その他鉄道広告に応用可能な先端技術情報の収集と共有化

技術開発委員会

坂田英洋委員長

昨年度と同様にICTに的を絞った研究を進めてまいります。スマートフォンと交通広告を連

動させたソリューションの検討、それからICTを活用した交通広告の検討と水平展開、更にはデジタルサイネージの価値向上と、そのネットワークの拡大の検討、それから応用可能な先端技術情報の収集と共有化などに取り組んでまいります。

調査研究委員会

- ・効率的なメディアプランニングに関する研究の促進
- ・新e・販促データシステムの改良と普及
- 広告料金、利用者数、輸送人員等のマーケティングデータ等の提供
- ・媒体活用事例の調査と紹介
- ・マーケティング講演会の開催

調査研究委員会

栗原圭一委員長

効率的なメディアプランに関する研究の促進、新e・販促データシステムの改良と普及、これに関しましては会員の数も増えておりますし、ますます担当委員の研鑽によりいいものを提供していきたいと思っております。その他、媒体活用例の調査と紹介、マーケティング講演会の開催などをしたいと考えております。

業務近代化委員会

- ・業務近代化に関する課題の提言
- ・デジタルサイネージ導入による近代化目標の検討

業務近代化委員会
阿部晋治委員長

今年度も引き続き、アカウンタビリティの向上と業務近代化に関する課題の提言、並びにデジタルサイネージ導入による鉄道広告の近代化目標について検討してまいります。

PR委員会

- ・「JAFRA NEWS」の編集・発行の継続と、掲載内容の充実
- ・ホームページを活用した、情報発信の強化
- ・鉄道広告枠を活用した、各種啓蒙キャンペーンの実施に伴う特設サイトの開設
- ・関係する外部機関との連携強化

PR委員会

阿久津光志委員長

普段ご愛読いただいております「JAFRA NEWS」の編集・

発行の継続、そして掲載内容の充実を図ってまいります。なんといってもインターネットの時代ですので、HPを活用した情報発信の強化、鉄道広告枠を活用した各種啓蒙キャンペーンの実施に伴う特設サイトの開設を行ってまいります。その他関係する外部機関との連携を強化してまいります。

アカウンタビリティ向上委員会

- ・標準化委員会、調査研究委員会、業務近代化委員会と連携してアカウンタビリティ拡充・データ整備
- ・関東交通広告協議会、日本広告業協会と連携して調査実施、データ整備
- ・交通広告共通指標策定システム稼働と運用

アカウンタビリティ向上委員会
正盛和彦委員長

交通広告共通指標策定を進めるために業界各団体と連携した推進プロジェクトにおける調査及びデータ整備の活動を今年度も継続してまいります。現在も調査は進行中ですが、今年度4月に稼働いたしました、3つの

ユニットの推定システム、この他にステッカー、ビジョン系のシステム稼働を目指して、現在作業を進めているところです。本日16時からのセミナーでも現在の調査状況と報告、4月にスタートしました推定システム、実際に運用をどのようにするのかということにつきましても説明をいたしますので、是非皆さまご出席をお願いいたします。

2. 各支部の主な活動目標

北海道支部

- ・支部幹事会の開催…4月
- ・支部総会・懇親会の開催…4月
- ・媒体連絡会の開催・不定期
- ・媒体視察研修会の開催…2015年秋季
- ・実務研修会（講演会）の開催…2016年冬季
- ・新規会員の入会促進
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・マナーUPキャンペーンの実施

北海道支部

幅口堅二支部長

昨年度の北海道地区の鉄道広告収入については、札幌駅、新千

歳空港駅の大型媒体が非常に好調だったこともあり、106%と好調に推移しました。今年度の事業計画ですが、既に4月27日支部幹事会、支部総会、懇親会を開催しました。以降の活動につきましては不定期ですが、媒体連絡会を開催してまいりたいと思っております。また、毎年実施しております媒体視察研修も、今年新幹線が開通した金沢方面へ秋ごろ訪問する予定をしております。一昨年から本部から講師の派遣をお願いしている実務研修につきましても、2016年2月の開催を予定しております。また、恒例の地球温暖化防止キャンペーン、マナーアップキャンペーン等についても取り組んでまいります。北海道に初めてとなる北海道新幹線が今年度末の開業を予定しております。これに伴っての新幹線車両の広告、新駅舎の広告について関係各所と現在協議を進めているところです。準備が整い次第会員の皆様に現地視察などを計画しております。

東北支部

- ・支部総会・懇親会の開催
- ・支部セミナー等の開催

- ・新規会員の入会懇連
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・マナーUPキャンペーンの実施
- ・東日本大震災5年目を迎え、復興に向けたさらなる支援活動

東北支部

若生善尚支部長

前述の6項目を精力的に進めていきたいと考えています。特に支部セミナーは、昨年非常に好評でしたので、今年度もタイムリーな企画で行う予定です。6項目目に「東日本大震災5年目を迎え、復興に向けたさらなる支援活動」とありますが、詳細につきましては「年次報告書」にも「東日本大震災から4年目の復興状況」というタイトルで、掲載してありますので、ご一読いただきご理解いただければと思います。特に鉄道関係では本年度に入り、宮城県の沿岸部を中心にJR石巻線、それから特に車両広告に人気のある仙石線が全面復旧し、ハイブリッド車両を使用したJR仙石東北ラインも開業しました。そういったハード面では着々と復興が進んでいますが、まだまだ復興というよりも復旧の色合いが濃いような状況です。私も東北に住

んで生業を営んでおります東北支部会員としましては、微力ながら震災の復興、或いは地域振興策のお手伝いをさせて頂きたいと考えております。

首都圏支部

- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・鉄道広告実務研修の実施…8月下旬から9月上旬
- ・セミナーの開催…7月、10月、2016年2月の3回
- ・支部総会・懇親会の開催…7月6日ホテルメトロポリタン
- ・地域間交流の促進
- ・新規会員の入会懇連
- ・マナーUPキャンペーンの実施

首都圏支部

小暮和之支部長

この7項目を中心に行っていますが、ほぼ例年並みというところで、経費をできるだけ効率的に執行して実をあげていきたいと考えております。環境、美観の公益事業に力を入れるのはもちろんのこと、今年度は特に人材育成関係に力を入れたいと思っております。セミナーは例年通り3回開催しますが、内

容をより充実させたいと考えております。鉄道広告実務研修も昨年は12月に実施しましたが、今年はもっと早めて夏休み明けからしっかりと新人のみなさん中心に勉強してもらうということで、8月から9月にかけて実施したいと考えております。内容もDVDに収録して配布できるようにする予定であります。

中部支部

- ・支部総会・懇親会の開催…7月予定
- ・支部セミナーの開催…7月予定
- ・媒体等視察研修の実施
- ・学生インターン・調査研究事業の実施
- ・支部会員交流会の開催
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施
- ・マナーUPキャンペーンの実施

中部支部

阿久津光志支部長

支部総会、セミナー、懇親会を7月27日(月)に予定しております。媒体などの視察研修につきましては、昨年度名古屋駅のシリーズ・アド・ビジョンをご覧いただいたケースがずいぶんありましたが、私どもも外に

出て行って媒体を積極的に視察したいということで予定しております。学生インターン調査研究事業ですが、昨年は南山大学、一昨年は金城学院大学というところで実施いたしました。今年はこの両大学に愛知大学を加えて7月6日まで希望者を募集しているところです。応募者が多ければ抽選になりますが、インターンシップ研修などを行います。最終的にはシリーズ・アド・ビジョンを使って自分たちが制作したものを放映するというところで、学生の方からご協力いただいている企業の方々にも好評をいただいておりますので、今年も積極的に展開してまいりたいと思っております。それから支部会員の交流会も実施いたします。各支部共通ですが、地球温暖化防止キャンペーン、マナーアップキャンペーンを実施いたします。

近畿・中国・北陸支部

- ・幹事会の開催…7月、2016年3月予定
- ・支部総会・懇親会の開催…7月予定
- ・支部セミナーの開催…7月予定
- ・交通広告実務研修会…9月予定
- ・地球温暖化防止全国キャンペーン

実施

- ・マナーUPキャンペーン実施に向けての推進
- ・業界諸団体との連携（各媒体社広告会・O A A A・関西交通広告協議会等）
- ・新規会員の入会懇憑（正会員、賛助会員）

近畿・中国・北陸支部

坂田英洋支部長

支部の幹事会、総会、セミナー、懇親会を7月6日に開催します。実務研修も9月、その他、地球温暖化防止キャンペーン、マナーアップキャンペーンも例年通り実施いたします。諸団体との連携、地域会員の入会懇憑も行っています。

四国支部

- ・支部総会・懇親会の開催…6月
- ・地球温暖化防止キャンペーンの実施…8月
- ・視察研修会の開催…10月
- ・支部会員交流会の開催…2016年1月
- ・マナーUPキャンペーンの実施
- ・新規会員の入会懇憑

四国支部

佐野正支部長

6月24日に、例年通り支部総会、懇親会を、1社の入会がありましたので14社で実施いたしました。地球温暖化防止キャンペーンは8月に実施します。視察研修会等は色々なご意見を聞きながら進めてまいりたいと思います。併せて来年1月にDVDを活用しながら支部会員交流会の開催をいたします。マナーアップキャンペーンの実施、新規会員の入会懇憑などに務めてまいります。

九州支部

- ・支部総会・懇親会の開催…12月
- ・支部セミナーの開催…12月
- ・支部運営会議の開催…4月、11月、2016年3月
- ・西鉄交通広告会、福岡市地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携
- ・地球温暖化防止キャンペーンの取り組み
- ・マナーUPキャンペーンの実施
- ・JAF R A N E W Sへの掲載及び本部各委員会との連携強化
- ・新規会員の入会懇憑

九州支部

水野正幸支部長

資料にありますとおりの8項目を行ってまいります。例年通りではありますが、今般、支部セミナーの開催などにもきちんと取り組んでまいりたいと思っています。支部運営会議も3回開催してまいります。新規で取り組みたいと考えていますのは、九州の鉄道広告の主要事業者である事業者の方々との意見交換会、交流会を通じ、JAF R Aの目的のつとめた公益性、交通広告の向上に向けた取り組みを強化していきたいと考えております。

3. 今後の予定

- 第2回理事会 11月（期日・会場未定）
- 第3回理事会 2016年3月（期日・会場未定）
- 平成28年広告界合同年賀会 2016年1月6日（水）15…30（帝国ホテル2階「孔雀の間」）

この他、平成27年度予算、委員長・支部長・副委員長の委嘱（P12参照）、第9回地球温暖化防止キャンペーンの企画概要について説明があった。

以上を以て15時32分、平成27年度定期総会は滞りなく終了した。

なお、これに先立つ6月11日に開催した第1回理事会及び、定期総会後に開催した臨時理事会において、以下の事項が決議された。

○副会長・常任理事の選定

・副会長（1名）

肥後 謙一

（株）メトロアドエージェンシー

・常任理事（1名）

稲川 一 （株）文宣

○副会長の会長代行順序

- 第1順序 小暮 和之 副会長
- 第2順序 滝 久雄 副会長
- 第3順序 間宮 泰三 副会長
- 第4順序 坂田 英洋 副会長
- 第5順序 肥後 謙一 副会長

○委員長・支部長等の委嘱変更

・総務・財務委員会 委員長

（新任）

稲川 一 （株）文宣

（退任）

清水 英明

・人材育成委員会 副委員長

（新任）

土屋 政文

（株）電通名鉄コミュニケーションズ

(退任)
平下 昌也

・アカウンタビリティ向上委員会
副委員長

(新任)

松尾 良太

(株)博報堂DYメディアパートナーズ

(退任)

池田 剛

○副支部長の委嘱

・近畿・中国・北陸支部 副支部長

(新任)

富田 栄次 (株)大阪オリコミ

(退任)

清水 英明

(以上6月11日付)

・総務・財務委員会 副委員長

(新任)

田中 友行

(株)ジェイアール東日本企画

(退任)

佐藤 俊一郎

・人材育成委員会 副委員長

(新任)

古川 義夫

(株)ジェイアール東日本企画

(退任)

川崎 春代

(以上6月29日付)

●セミナー



セミナー講師 中野氏



満席のセミナー会場

定期総会終了後、アカウンタビリティ向上委員会のメンバーでもあり、交通広告共通指標推進プロジェクトの幹事でもある、(株)電通の中野雅之氏によるセミナーを開催した。「交

●懇親会

通広告共通指標推進プロジェクトの活動」の、これまでの経緯と進捗状況について共同調査からの知見、広告主からの評価、今後の課題や取組みなどの説明があり、参加された150名を超える会員の皆さまは、熱心に聞き入っていた。

セミナー終了後に懇親会を開催した。

お越しいただいた多くの来賓を代表して、国土交通省鉄道局 鉄道サービス政策室長 山下雄史氏と、東日本旅客鉄道(株)常務取締役 事業創造本部長の一ノ瀬俊郎氏より、ご挨拶いただいた。



国交省 山下雄史氏



JR東日本 一ノ瀬俊郎氏



乾杯の発声をする小暮副会長



中締め挨拶をする瀧副会長

小暮和之副会長の乾杯の発声のあと、会員の皆さまは和やかに交流を深められた。



懇親会

平成27年度 役員一覧

会長（1名）

今木 甚一郎 公益社団法人

日本鉄道広告協会

会長代行副会長（1名）

小暮 和之 (株)ジェイアール東
日本企画

副会長（4名）

滝 久雄 (株)NKB

間宮 泰三 協立広告(株)

坂田 英洋 (株)JR西日本コ
ミュニケーションズ

肥後 謙一 (株)メトロアドエー
ジェンシー

常任理事（10名）

富田 栄次 (株)大阪オリコミ

正盛 和彦 (株)オリコム

阿久津 光志 (株)ジェイアール東
海エージェンシー

小野寺 忠之 (株)春光社

阿部 晋治 (株)電通

林 誠 (株)東急エージェン
シー

神田橋 治 (株)TOMOE

渡辺 文雄 (株)日交西部本社

稲川 一 (株)文宣

栗原 圭一 (株)ムサシノ広告社

専務理事（1名）

田之上 恵 公益社団法人
日本鉄道広告協会

理事（23名）

高成田 潔 (株)小田急エージェン
シー

三宅 裕司 小田急電鉄(株)

中野 量太 九州旅客鉄道(株)

上林 寛和 近畿日本鉄道(株)
亀卦川 悟 (株)京急アドエンター
プライズ

竹川 勉 京阪電気鉄道(株)

水野 正幸 JR九州エージェン
シー(株)

佐野 正 (株)ジェイアール四国
企画

富田 恭史 西武鉄道(株)

田中 里沙 (株)宣伝会議

大津 英敏 多摩美術大学

本田 孝一 東京急行電鉄(株)

宮田 亮平 東京藝術大学

増田 拓也 東京地下鉄(株)

岩ヶ谷 光晴 名古屋鉄道(株)

齋藤 俊也 南海電気鉄道(株)

松藤 悟 西日本鉄道(株)

橋本 修男 西日本旅客鉄道(株)

仁平 次雄 (株)日交

坂本 隆 (社)日本雑誌協会

米田 龍司 (株)日本宣交社

新井 健一郎 東日本旅客鉄道(株)

平川 敏彦 北海道旅客鉄道(株)

監事（4名）

矢田 武男 (株)中央廣告

佐々 亨 (株)東京メディア・サー
ビス

穴戸 旦 公益社団法人
日本広告審査機構

清水 勇宏 (株)近宣

正副委員長

総務・財務委員会

・委員長

稲川 一 (株)文宣

・副委員長

仁平 次雄 (株)日交

田中 友行 (株)ジェイアール東日
本企画

倫理委員会

・委員長

神田橋 治 (株)TOMOE

・副委員長

中馬 輝彦 キング鉄道広告(株)

美観風致委員会

・委員長

滝 久雄 (株)NKB

・副委員長

渡辺 文雄 (株)日交西部本社

田中 里沙 (株)宣伝会議

安全委員会

・委員長

佐々 亨 (株)東京メディア・
サービス

・副委員長

片岡 伸泰 (株)アド近鉄

環境委員会

・委員長

富田 栄次 (株)大阪オリコミ

・副委員長

芦刈 英雄 (株)TOMOE

標準化委員会

・委員長

正盛 和彦 (株)オリコム

・副委員長

成田 和雄 協立広告(株)

人材育成委員会

・委員長

小野寺 忠之 (株)春光社

・副委員長

土屋 政文 (株)電通名鉄コミュニ

ニケーションズ

古川 義夫 (株)ジェイアール東

日本企画

技術開発委員会

・委員長

坂田 英洋 (株)J R 西日本コ

ミュニケーションズ

・副委員長

望月 敏弘 (株)春光社

山本 孝 (株)ジェイアール東

日本企画

菊井 健一 (株)東急エージェン

シー

井上 浩司 (株)J R 西日本コ

ミュニケーションズ

調査研究委員会

・委員長

栗原 圭一 (株)ムサシノ広告社

・副委員長

有坂 康雄 (株)小田急エージェン

シー

阿部 晋治 (株)電通

業務近代化委員会

・委員長

阿部 晋治 (株)電通

・副委員長

佐野 正 (株)ジェイアール四国

企画

PR委員会

・委員長

阿久津 光志 (株)ジェイアール東海

エージェンシー

・副委員長

田中 里沙 (株)宣伝会議

アカウンタビリティ向上委員会

・委員長

正盛 和彦 (株)オリコム

・副委員長

阿部 晋治 (株)電通

松尾 良太 (株)博報堂DYメディア

パートナーズ

栗原 圭一 (株)ムサシノ広告社

正副支部長

北海道支部

・支部長

幅口 堅二 (株)北海道ジェイ・アール

ル・エージェンシー

・副支部長

三浦 啓一 (株)交通新聞社 北海道

支社

東北支部

・支部長

若生 善尚 (株)ジェイアール東日

本企画 仙台支店

・副支部長

大仁田 智 (株)近宣 仙台支店

首都圏支部

・支部長

小暮 和之 (株)ジェイアール東日

本企画

・副支部長

滝 久雄 (株)NKB

中部支部

・支部長

阿久津 光志 (株)ジェイアール東海

エージェンシー

・副支部長

伊藤 淳五 (株)電通名鉄コミュニ

ケーションズ

近畿・北陸・中国支部

・支部長

坂田 英洋 (株)J R 西日本コミュ

ニケーションズ

・副支部長

富田 栄次 (株)大阪オリコミ

四国支部

・支部長

佐野 正 (株)ジェイアール四

国企画

・副支部長

塩 日出男 西日本広告(株)

九州支部

・支部長

水野 正幸 J R 九州エージェ

ンシー(株)

・副支部長

渡辺 文雄 (株)日交西部本社

加峯 辰美 (株)西鉄エージェン

シー

(2015年6月29日 敬称略)

第9回地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーンを開催！

エキからエコ。

—地球温暖化を、一枚の環境アートから考える。



テーマポスター

今年の夏休みも
エキからエコ。を考えましょう

回を重ねて今年で9回目となりました「地球温暖化防止全国鉄道広告キャンペーン」を、全国のＪＲ、私鉄、地下鉄35社の協力を得て、今年も実施いたします。8月1日（土）～8月31日（月）の1か月間、ご協力いただく鉄道各社の駅及び車両内のポスター枠などを利用し、テーマカラー「深緑色」で森を「黄土色で大地を」「群青色で海を」「茜色で太陽を」の4色で構成されたポスターとデジタルサイネージで展開いたします。

毎年、盛夏にこのキャンペーンを行うことで、夏休みの移動手段として、省エネ交通機関である鉄道を多くの方にご利用いただく際、駅や車両のポスターやデジタルサイネージを眼に留めいただき、一緒に旅行をする家族や仲間と一緒に地球温暖化防止や、環境問題について話し合ったり考えたりする時間をもっていただけたらと思っております。

ビジュアルは、このキャンペーンに賛同してくださった4名の現代を代表する著名芸術家及びクリエイターの方が、今年もボランティアで作品を提供してくださいました。4名の方からのメッセージは、ホームページの期間限定の特設ページから

ご覧いただけます。ホームページは、今回も昨年までの作品を閲覧できるアーカイブス、全国の鉄道に関係する博物館やアクティビティを紹介しています。夏休み、どこへ行くのか迷った時、自由研究をお考えの場合もぜひアクセス下さい。

1. 実施期間

2015年8月1日（土）～
8月31日（月）

2. ポスター種類

車内ポスターB3×4種類
駅ポスターB1×5、B0×4種類
駅デジタルサイネージポスター

3. 制作協力

ビジュアル提供…
宮田亮平氏
金工家／東京藝術大学学長
「シュプリンゲン」

大津英敏氏

洋画家／多摩美術大学名誉教授

「ホワイティとパリ」

手塚雄二氏

日本画家／東京藝術大学教授

「秋麗」

日比野克彦氏

アーティスト／東京藝術大学教授
「CROCODILE」



大津英敏 作 「ホワイティとパリ」



手塚雄二 作 「秋麗」



日比野克彦 作 「CROCODILE」



宮田亮平 作 「シュプリンゲン」

アートディレクター…蝦名龍郎氏
コピーライター…マキプロ
根岸礼子氏

4. 主催

公益社団法人日本鉄道広告協会

5. 協賛

財団法人日本宝くじ協会

6. 後援

環境省、国土交通省

7. 協力

小田急電鉄(株)、九州旅客鉄道(株)、京都市交通局、近畿日本鉄道(株)、京王電鉄(株)、京成電鉄(株)、京阪電気鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、神戸市交通局、埼玉高速鉄道(株)、相模鉄道(株)、札幌市交通局、山陽電気鉄道(株)、四国旅客鉄道(株)、首都圏新都市鉄道(株)、西武鉄道(株)、東海旅客鉄道(株)、東京急行電鉄(株)、東京地下鉄(株)、東京都交通局、東京モノレール(株)、東京臨海高速鉄道(株)、東武鉄道(株)、東葉高速鉄道(株)、名古屋市交通局、名古屋鉄道(株)、南海電気鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)、北海道旅客鉄道(株)、横浜高速鉄道(株)、横浜新都市交通(株)

(35社、五十音順)

調査研究委員会 e・販促データ委員会

SAPとTAPの 操作説明会を開催しました

調査研究委員会、e・販促データ委員会では、JAFRA ADS「Station AD Planner(SAP)」Train AD Planner(TAP)」の操作説明会を東京と大阪で開催しました。毎年、新入社員や交通媒体部門に異動されてきた社員の方などを対象に操作説明会を開催していますが、昨年4月にリニューアルしたこのシステムには、有料会員(ADS会員)だけでなくJAFRA会員であればどなたでも利用できるということもあり、特に東京会場では多くの皆さまにご参加いただきました。また、TAPには、今年から札幌地区、福岡地区に新たに路線図を追加しましたので、これからより多くの皆さまに、試していただけたらと思います。



総務・財務委員会

平成26年度年次報告書を発行



JAFRAの平成26年度1年間の活動成果を記録として収めた年次報告書を、今年も定期総会に併せて発行しました。JAFRAの活動報告の他、広告業界の動向、交通広告共通指標推進プロジェクトからの進捗状況のプレスリリース、e・販促データシステムリニューアルのリリース、震災から4年目を迎えた東北の復興状況のレポートなどがまとめられています。

2015年6月29日発行
A4サイズ 92ページ 4色

編集後記

今年の夏もエキからエコ。キャンペーンが始まりました。ポスターのテーマは野生動物ですが、絶滅危惧種のパンダを見てきました。環境が破壊され、世界に1600頭程度しか確認されていないようです。



パンダは暑さに弱いから、冷房完備の室内でゴロゴロできてうらやましい…。と思わずエコではないことをつぶやきたくなる毎日の暑さです。熱中症にはご注意ください。駅や電車でポスターを見かけたら、撮影してお送りください、お待ちしております。

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。
information@j-jafra.jp



●会員社の代表者が変更になった場合など、変更届はホームページ(<http://j-jafra.jp>)の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力お願いします。